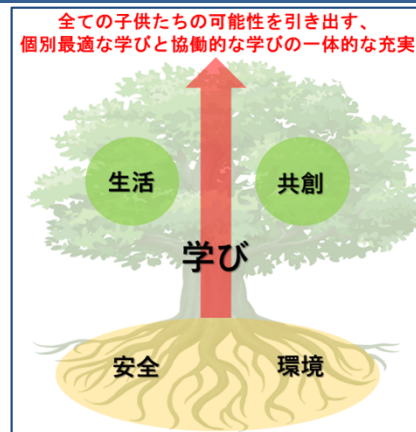


ウェルビーイング向上のための学校施設づくりのアイデア集について（令和6年9月公表）

- 「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について 最終報告」（令和4年3月、学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議）や教育振興基本計画（令和5年6月閣議決定）において示された考え方を踏まえ、「学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ」（座長：伊藤俊介 東京電機大学教授）において、「共創」「生活」「学び」「環境」「安全」の5つの観点から、新しい時代の学びを実現する学校施設のアイデアとその実現プロセスについて事例を収集。
- 児童生徒や教職員一人一人のウェルビーイングの向上を図る取組とともに、各要素のつながりや連続性を含め、学校という環境全体を、調和した生活・活動の場となるように整備するためのアイデアを紹介。

🔍 ウェルビーイング向上のための学校施設づくりのアイデア集



新しい時代の学び舎として目指していく姿（イメージ図）

多様な主体の参画によって生まれる施設整備の展開

- 構想段階から地域住民や教職員等が設置者・設計者と共創、新校舎で行う学びをデザイン



（福島県大熊町立学び舎ゆめの森）



（北海道中頓別町）

- 使用中の校舎の活用方法について、教職員が専門家と共に空間環境を改善



（東京都板橋区立板橋第十小学校）

- 地域住民や教職員が検討に参画し、改修計画に地域開放の視点を反映



（千葉県柏市立土小学校）

- 使用中の校舎についての問題意識を教職員自身が具体化し、自分たちで空間の改善につなげる



（東京都板橋区立板橋第十小学校）



（東京都八王子市立いずみの森義務教育学校）

- 日頃、校舎を利用している児童生徒や地域住民が、自分たちで既存の教室を改修



（東京学芸大学附属竹早中学校）



（広島県府中市立栗生小学校）

- 新校舎の施工に子どもたちも職人と共に参加



（富山県魚津市立星の杜小学校）

多様な主体の参画

構想・計画

設計・施工

使いこなし

カスタマイズ

改修

建て替え